

市総合図書館・分館

新しいサービスを始めました

インターネットで予約できます



総合図書館と各分館は、インターネットでの予約や、情報ダイヤル(電話自動応答サービス)など新しいサービスを開始。より便利に図書館を利用できるようにになりました。また、新しいサービスの実施に伴い、貸出や予約の手続きが一部変わりましたので、ご注意ください。



24時間利用できるサービスもスタート

① 予約の申込み方法が増えます。

インターネット(総合図書館ホームページ: <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>)や、図書館内に設置の利用者用検索機(OPAC)でも、予約申込みができます。貸出可能な図書・雑誌が対象です。

② 予約資料(図書・雑誌)の用意ができたなら、Eメールや自動電話で着本をお知らせします。

・Eメールは、パソコンや携帯電話に送ります。返却督促もメールで連絡します。

・メールアドレスを登録していない人には、自動電話(機械音声)で着本をお知らせします。

予約や貸出の手続きが一部変わりました

新サービスの開始に伴い、資料のスムーズな提供のためのご協力をお願いします。

① 予約資料の受け取りは、1週間以内にご来館ください。

案内済みの期限内に、ほかの予約資料が用意できても改めて連絡はしません。連絡済みの期限内に受け取ってください。

② 返却遅れの資料を持っている場合は、予約申込みできません。

貸出や貸出延長は、遅延中の資料をすべて返却した翌日からできます。

パスワード、Eメールアドレス登録のお願い

○パスワード

インターネットや検索機での予約申込み、利用状況確認、貸出延長にはパスワードが必要で、パスワードは、インターネット、検索機、情報ダイヤルのそれぞれから登録できます。1人(貸出カード1枚)につき、4〜10(半

③ 情報ダイヤル(電話自動応答サービス) ☎852・5050を新設します。

④ 開館日や開館時間などの利用案内や自分の利用状況が、24時間聞けます。

⑤ 貸出や予約の利用状況が、自分で確認できます。

⑥ 貸出延長が、1資料につき1回、来館しないでできます。



映像ホールなども備えた市総合図書館

図書館の利用案内

《貸出対象者》

福岡都市圏に居住、または市内に通勤・通学している人。貸出カードが必要です。氏名と住所が確認できる免許証や健康保険証などを持参し、図書館のカウンターで手続きしてください。全館共通で3年ごとに更新が必要です。

《貸出冊数》

図書は1人10冊まで。映像資料のCD・カセットは2点まで。ビデオ・DVDは1点

《貸出期間》

2週間以内

■予約できる冊数など

	予約方法	予約対象資料(図書・雑誌)	予約受付冊数(最大)	
			新規	現行
インターネット	検索機(OPAC)	所蔵資料(総合・9分館)	5冊	合計10冊
		所蔵資料(総合・9分館) 予約申込み館の在庫資料には不可	10冊	
リクエストカード	電話	未所蔵資料も可	10冊	
		未所蔵資料も可	3冊(1日1回)	

※現行の予約方法も引き続き利用できます。

■利用できる手続き

手続き一覧	登録・変更		予約申込み	利用状況確認	貸出延長
	パスワード	メールアドレス			
インターネット	○英数字	○	○	○	○
検索機(OPAC)	○ //	○	○	○	○
情報ダイヤル	○ 数字	—	—	○	○

10月22日〜28日は精神保健福祉普及週間

早めの対策で自殺を予防

10月22日から28日は、精神保健福祉普及週間です。この期間に心の健康について見直し、近年問題になっている自殺について考えましょう。

■自殺者の現状

全国の自殺者数は、平成10年に一挙に増加して3万人を越え、その後も高い水準が続いています。これは交通事故死の5倍にあたる数です。

人口10万人当たりの自殺による死亡率(自殺死亡率)で欧米の先進諸国と比較すると突出して高い水準です。市の平成18年度の自殺死亡率は全国平均よりも高く、毎年300人を超えている人が亡くなっています。

自殺者急増の要因は、中高年男性の自殺者急増であり、これは他国にはみられない特徴です。本市も同様の傾向です。また高齢者は従来から自殺死亡率が高く、今後、高齢化、核家族化が一層進行するにつれ、自殺対策は重大な課題となります。

■具体的な取り組み

自殺の背景の調査研究から①自殺を図った人の約8割はうつ病などの心の病にかかっていたが、医療機関にかかっていた人は少なかつた②自殺した人の約8割は誰にも相談していなかった③自殺のサインに周囲の人が気付いていたのは約8割だった④自殺の原因・動機は健康や経済問題などさまざまな問題が関係し、追い込まれた末の死であり何らかの支援をすることで予防できる——ということが分かっています。

■うつ病についての相談は

うつ病はやる気がしない、という気分の症状以外に不眠、疲労感、肩こりなど身体症状が出ることも多いため、うつ病と気付きにくいことが多くあります。早めにかかりつけ医に相談しましょう。

また、精神保健福祉センターや各区保健福祉センター健康課のケア係で本人だけでなく、家族などからの相談にも応じていますのでご利用ください。

【各区保健福祉センター健康課のケア係】

- ▽東区 ☎645・107
- ▽博多区 ☎419・109
- ▽中央区 ☎761・739
- ▽南区 ☎559・511
- ▽城南区 ☎831・420
- ▽早良区 ☎851・601
- ▽西区 ☎895・707

中高年者縦断調査を行います

厚生労働省の委託で、50〜59歳の人を対象に健康・就労・社会活動に関する調査を行います。10月中旬〜11月下旬に、市が委嘱した調査員が指定された地域の対象者世帯を訪問します。ご協力をお願いします。 〇〇各区保健福祉センター健康課